



本で旅する

昔から「旅」をテーマにした書物は人気がありました。「東海道中膝栗毛」のような読み物や、街道の名所をとりあげた名所記などは旅がままならない時代の楽しみでもありました。現代でも旅行記や旅ミステリー、時刻表や風景写真などは、居ながらにしてどこへでも出かけた気分になさしてくれます。旅行ガイドにはない旅の楽しみを本でみつけませんか？日本の「旅」に関する本 600 冊を集めて展示、貸出します。

期間：平成 25 年 5 月 10 日(金)～7 月 10 日(水)

会場：愛知県図書館 1 階ロビー

展示資料の一部をご紹介します。このほかにも展示中！貸出もできます。



昔の旅人たちの記録

『江戸の紀行文 泰平の世の旅人たち（中公新書）』板坂耀子 2011 中央公論新社
江戸時代の紀行文の概略や背景を10以上紹介。ここから気になる作品を見つけてみては。

『完訳日本奥地紀行全4巻（4のみ準備中）』イザベラ・バード 2012-2013 平凡社
明治時代に世界各国を旅行したイギリス女性の日本旅行記。日光や新潟、京都や神戸、伊勢など広い範囲を訪れています。今放映中の大河ドラマの主人公、新島八重にも会っています。

『近世紀行日記文学集成全2巻』1993-1994 早稲田大学出版部

他では紹介されていない紀行文が満載です、尾張出身の儒学者細井平洲「遊松島記」もあります。



歴史街道をゆく

『街道の日本史 全56巻』 2000-2006 吉川弘文館

このシリーズは地域別ではなく、街道ごとの歴史でまとめられています。愛知に関係があるのは29巻「名古屋・岐阜と中山道」、30巻「東海道と伊勢湾」です。

『古写真で見る街道と宿場町』児玉 幸多／編著 2001 世界文化社 2001.11

明治から大正に撮影された写真をもとに構成。橋や船、宿場がまだ江戸の面影を残しています。



作家が旅する・作品で旅する

『街道をゆく 全43巻』司馬遼太郎 1971-1996 朝日新聞社

1971年週刊朝日での連載に始まる作者のライフワークともいえる街道エッセイ。1996年に急逝し、「濃尾参州記」で絶筆となりました。

『古寺巡礼』辻井喬 2009 角川春樹事務所

定番の和辻哲郎とはまた違う実業家堤清二としても活躍した作家の古寺巡礼はいかがでしょうか。

『平成お散歩（かち）日記』宮部みゆき 1998 新潮社

宮部みゆきが実際に歩いて、江戸時代の赤穂浪士や伊勢参りなどを体験した紀行エッセイ。



写真や絵で旅する

『世界遺産・小笠原』三好和義 2011 朝日新聞出版

東洋のガラパゴス小笠原は行くには船で1日以上！ぜひ美しい写真でお楽しみください。

『旅する江戸絵画 琳派から銅版画まで』金子信久 2010 ピエ・ブックス

司馬江漢「西遊旅譚」与謝蕪村「奥の細道図屏風」など江戸時代に描かれた旅関係の絵を集めています。



旅の楽しみはいろいろ

『おみやげ 贈答と旅の日本文化』神崎宣武 1997 青弓社

旅に行けばおみやげを買わずにはいられない！？日本人の不思議に迫ります。

『時刻表1000号物語』交通情報部編 2009 JTBパブリッシング

いわゆる「交通公社の時刻表」は、大正14（1925）年4月創刊で2009年に1000号となり、現在も続いています。表紙の写真を一覧できるほか、裏話なども載っています。

【お問合せ】

愛知県図書館 総務課 企画グループ

〒460-0001 名古屋市中区三の丸 1-9-3

Tel 052-212-2323 Fax 052-212-3674

<http://www.aichi-pref-library.jp/>

【交通案内】

- 地下鉄/鶴舞線 または 桜通線「丸の内」下車
8番出口から北へ徒歩5分
- 市バス/名古屋駅から 幹名駅 1・名駅 14
「愛知県図書館」下車徒歩3分

【開館時間・休館日】

午前10時～午後8時（土・日・祝日は午後6時まで）

休館日：月曜日、毎月第2木曜日

